

# 京都市ジュニアオーケストラ

## ミュージック・サマー・コンサート @京都市呉竹文化センター

指揮・合奏指導：**阿部 未来**

Conductor: **Mirai Abe**



©Akira Keno

1985 年秋田県生まれ。

2007 年東京音楽大学音楽学部音楽学科器楽専攻（ピアノ）卒業。

2009 年東京音楽大学大学院科目等履修生作曲・指揮専攻（指揮）修了。これまでにピアノを、前田英樹、杉山とみえ、ロナルド・カヴァイユの各氏に師事。また声楽を築地利三郎、小島聖史の各氏に、指揮を広上淳一、船橋洋介、三河正典、時任康文の各氏に師事する。2010 年、アフィニス夏の音楽祭 2010“山形”に指揮研究員として参加、飯森範親氏の薫陶を受ける。

その後 2011 年、ロータリー財団国際親善奨学生としてドイツ国立ドレスデン“カール・マリア・フォン・ウェーバー”音楽大学指揮科に留学。指揮を E.Klemm、S.Leissner の各氏に師事。また、オペラコレペティションおよびオペラ指揮法を、F. Brochhagen、V. Borrits の各氏に師事。また、C. Kluttig の薫陶を受ける。Landesbühnen Sachsen にて、コレパティトゥア及び指揮者として研修。

また、Sorbisches National-Ensemble Bautzen、子供の為のオペラプロジェクト、E. フンパーティンク「ヘンゼルとグレーテル」にて、コレパティトゥアとしてゲスト契約。その後プレミアム公演及び追加公演を指揮。

帰国後、2015 年 4 月から 2019 年 3 月まで公益財団法人神奈川フィルハーモニー管弦楽団副指揮者をつとめ、同団の自主公演を含む多数の公演を指揮。また、山形交響楽団、東京都交響楽団、大阪交響楽団、広島交響楽団、仙台フィルハーモニー管弦楽団、オーケストラ・アンサンブル金沢、京都市交響楽団、静岡交響楽団、名古屋フィルハーモニー交響楽団、東京佼成ウインドオーケストラ、オオサカ・シオン・ウインドオーケストラ等、各地のオーケストラに客演。

2020 年度山田貞夫音楽財団山田貞夫音楽賞並びに特選受賞。

2021 年度セントラル愛知交響楽団アソシエイトコンダクター。

## 管弦楽：京都市ジュニアオーケストラ Kyoto Junior Orchestra

青少年のオーケストラ活動の支援と心豊かになる環境づくりを目的として、京響創立 50 周年、京都コンサートホール開館 10 周年を機に 2005 年に設立。2006 年 3 月「京都市ジュニアオーケストラ デビューコンサート」を開催。10 歳～ 22 歳までの京都市在住・通学の青少年を対象に、オーディションにより選抜された約 110 名で結成される。

これまでに大友直人、井上道義、広上淳一などの指揮のもと、16 回の定期公演（京都市ジュニアオーケストラコンサート）を実施。その他「ミュージック・フリー」（2008 年）、「京響みんなのコンサート」（2009、13 年）、「オーケストラ・ディスカバー」（2010 年）、「第 26 回国民文化祭 2011・京都 ジュニアオーケストラの祭典」（2011）、「京都ミュージック・プロムナード」（2013、14 年）、「京都おもてなし音絵巻 2014」（2014 年）、「ラ・フォル・ジュルネ金沢 2015」（2015 年）、「トロンハイム・ジュニア・ソロイスト “フレンドシップコンサート”」、「京都岡崎音楽祭 OKAZAKI LOOPS」（2016 年）に出演。2019 年には「近江の春びわ湖クラシック音楽祭」出演したほか、今回のミュージック・サマー・コンサートの前身となる「ミュージック・サマー・キャンプ」ではライブツィヒユースオーケストラと合同演奏を行った。

発足当初より京響メンバーが指導を行い、2008 年度からは広上淳一（現・京都市交響楽団第 13 代常任指揮者兼芸術顧問）をスーパーヴァイザーに迎え、京都市ジュニアオーケストラは継続的な成長とともにオーケストラの演奏レベルが高く評価されている。

（合奏指導：大谷麻由美、岡本陸、小林雄太）



©Tatsuo Sasaki

### 今後の演奏会

第 17 回京都市ジュニアオーケストラコンサート

日時：2022 年 1 月 30 日（日） 14:00 開演

会場：京都コンサートホール 大ホール

指揮：広上淳一（京都市ジュニアオーケストラ・スーパーヴァイザー）

ホームページ：<https://www.kyotoconcerthall.org/juniororchestra/>



### 【ご来場のお客様へ：新型コロナウイルス感染拡大防止に関してのご理解とご協力のお願い】

- 以下の症状があるお客様はご来場をお控えください ・来場前に検温し、平熱と比べて高い発熱がある方、咳、呼吸困難、全身倦怠感、咽頭痛、鼻汁・鼻閉、味覚・嗅覚障害、目の痛みや結膜の充血、頭痛、関節・筋肉痛、下痢、嘔気・嘔吐の症状のある方。 ・新型コロナウイルス感染症陽性とされた方との濃厚接触がある方、過去 2 週間以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国・地域への訪問歴及び当該在住者との濃厚接触がある方。 ・その他、体調に不安がある方（高齢者や既往歴のある方等、重症化リスクの高い方は、医師の判断や関係機関の情報をご確認の上、慎重なご判断をお願いいたします）。
- ご来場される際は以下にご協力下さい ・マスクのご着用および咳エチケットにご協力をお願いいたします。マスクを着用されていないお客様はご入場をお断りする場合がございます。 ・ご自身の顔（目、鼻、口など）を触る行為にお気をつけいただくとともに、頻りに手指の消毒・手洗いをお願いいたします。 ・ホール内でのご歓談はお控えください。
- 公演当日のホールにおける感染拡大防止・予防への対応 ・ホール入口では非接触体温計を用いて、すべてのご来場者様の検温を実施いたします。
- ホール内の換気をより強化し、外気取入れによる換気を行います。
- ホール内各所にアルコール消毒液を設置するとともに、手すりなどのホール内消毒を強化いたします。 ・演奏者の間隔、お客様と演奏者との間隔は十分な距離を確保いたします。
- プログラム等の手渡しでの配布はいたしません。ご自身でお取りいただきますようお願いいたします。
- 出演者、関係者、スタッフは自宅での検温やマスクの着用、手指消毒を徹底します。体調のすぐれないスタッフがいた場合は、そのスタッフが当日の運営を行うことはございません。
- スタッフも、お客様へのお声がけをできる限り控えさせていただくことを、あらかじめご了承ください。